
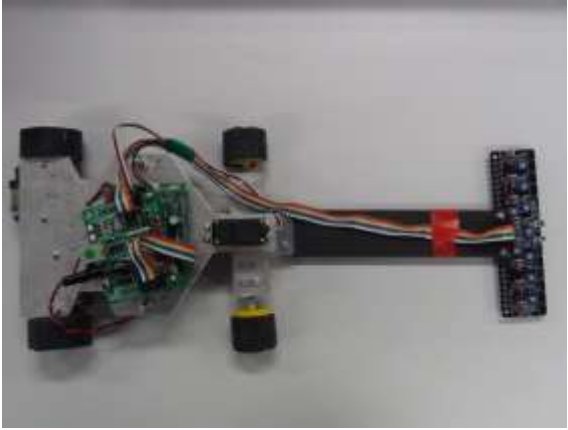


## 平成 29 年度 情報電子科課題研究発表概要

平成 30 年 1 月 25 日 (木)

<p>題目</p>	<p>マイコンカー製作と大会出場 2017</p>
<p>目的</p>	<p>○とにかく完走することを目指し、タイムを残すこと。 ○マイコンカーを通して、車体の仕組みやプログラムの理解を深める。</p>
<p>内容</p>	<p>○マイコンカーの説明 Advanced Class と Basic Class の二種類があり、決められたコースを走らせ、ラップタイムを競う競技です。中国大会では上位 5 台までが全国大会に出場可能になります。 マイコンカーとは、ルネサステクノロジ製マイコンと呼ばれるマイクロコンピューターを搭載した完全自走式の車です。一見、おもちゃ屋さんなどでよく売られているラジオコントロール（ラジコン）と形は似ていますが中身は全く違います。一番の違いは、ラジコンは人間の手で操作するのに対して、マイコンカーはマイコンが操作する点です。プログラムに沿ってコースを走っていくマイコンカーを見ると、生きているように見えるかもです。</p> <p style="text-align: center;">Basic の機体</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">○大会結果 日付： 11 月 25 日 11 月 26 日 場所： 広島県立福山工業高等学校 出場者： 吉敷穰太郎 武田和樹 吉田拓海 伊藤翔大 藤井連 田村幸紀 中原銀 参加台数： Basic Class 86 台 完走 39 台 結果： 完走者 無し</p>
<p>まとめ</p>	<p>学校では完走をすることができた人が何人もいましたが、本番では会場の照明、タイヤの汚れが原因で完走することができませんでした。 さらに大会で完走していたチームと比べると、マイコンカーの速さに圧倒的な違いがあり、自分たちのマイコンカーは製作とプログラムの両立ができていないと実感しました。 マイコンカーの製作やプログラムの難しさや奥深さ、楽しさを知り得た課題研究でした。 私たちは、4 月から大会までの間、前半ほとんど製作が進んでなく、後半に焦って作っていたので、夏休みまでに製作が終わる様に取り組んで欲しいです。</p>